

## 平成29年度 鹿児島県小・中・高・特別支援学校PTA広報紙コンクール審査評

### 1 総合所見

- (1) 各単位PTAで、年間を通し充実した活動が展開されていることがうかがえた。  
PTA活動のテーマを設定し、記事内容、紙面構成、見出しなどを工夫し、読んでもらえる魅力ある広報紙づくりへの努力が感じられた。
- (2) 小学校では、地域性、学校規模などの特徴をよく捉えて記事にしたり、会員が知りたい情報をタイムリーに提供したりしている広報紙が増えてきている。
- (3) 中学校では、PTA専門部の活動を分かりやすく紹介したり、記事内容に会員の声を反映させたりするなど紙面づくりへの意欲がうかがえた。また、写真、文字、紙面のレイアウトを工夫している紙面も多く見られた。
- (4) 高等学校では、PTA活動のテーマやスローガンを設定しその視点で紙面を構成している広報紙が多く見られた。
- (5) 特別支援学校では、子どもの成長を中心にしながら、保護者の知りたい情報も取り込み紙面を構成するなどの工夫が見られた。

### 2 今後の課題（留意してほしいこと）

- (1) 学校や地域での子どもの活動を取り上げることが多いが、行事の紹介のみで終わるのではなく、保護者やPTA活動の視点・関わりから記事にしてほしい。  
  
例 ○ 「〇〇を支えるPTA活動」として、会員の苦労や喜びを記事にする。  
  
○ 入学、卒業の記事を、親の思いや願いとして紙面を構成する。  
  
○ PTA活動、広報紙発行のテーマを設定し、どのような活動をしてきたかについて、追跡した記事にする。
- (2) 広報紙をいっそう充実させるために  
  
○ PTA活動と地域との関わりなど情報を広く集めるなどの工夫をし、記事内容に変化を持たせてほしい。  
  
○ 単位PTAで発行した広報紙を活用する機会を設けていただきたい。  
(特集記事などを基に話し合うことで、会員の資質向上と広報紙への関心が高められる。)  
  
○ カラー印刷が増えてきているが、色調、写真と文字のバランスなどに配慮していただきたい。